補	助	J	事	1117	業	名		寅習場関連2 関する施設			设置工事)	整備事業	
補	助	事	. 45/	業	者	名	九重町						
実		施		場		所	大分県九重	重町大字右	#				
補	助	事	業	0)	目	的	防火水槽を	を設置する。	ことにより	、消防力の)強化を図	り、地域住	民の安全
補	助	事	業	0)	内	容	耐震性防力	火水槽設置	R C 造40	㎡ 1基			
補具	助事	業の	始其	朝及	ひが	 以	平成25年	F度					
								2 5 年度					<u></u>
事	業費	党 及	び	交	付 金	額	事業費	円 4, 305, 000	円	円	円	円	円 4, 305, 000
							交付金額	3, 275, 000					3, 275, 000
補具	助事	業の	成是	果及	び評	严価	防火水槽を設置したことにより、消防力の強化が図られ、地域住民の安全を確保することができた。						
事今	業 (後		女 連 の			び応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。						
事	業の 者機	評価 関 <i>(</i>	iに D 活	祭し	ノて <i>の</i> の有	第	新 無						
2/2-	中州	4 on ⇒	π /π·	- 178V	,)	<u> </u>	土土を日日ナンゴ	田した担合	ア ハンラチなど	→ 北 松田	カ エム ファッド井 -	トロ <i>は</i> よう±1±	トレフェー

補	助	J	事	業	皂	名		寅習場関連2 比施設:給1			後)整備事	業	
補	助	事	業	181)	者	名	九重町						
実		施		場		所	大分県玖珠	朱郡九重町	大字野上1	9番地の]			
補	助	事	業	の	目	的	び設置を乳	た、学校給か 実施し、食物 事業の衛生物	器洗浄業務	の安定確保	R及び作業		
補	助	事	業	の	内	容	給食センク	ター食器洗浴	争機 2台	(食器洗汽	争機・立体	 浸漬槽、各	- 1台)
補	助事	業の	始期	月及	び終	: 期	平成25年	手度					
								25年度					計
事	業費	,及	びる	交 东	† 金	額	事業費	円 37, 065, 000	円	円	円	円	円 37, 065, 000
							交付金額	34, 888, 000					34, 888, 000
補	助事	業の	成果	!及	び評	益価		幾を更新し7 D児童・生行 なった。					
事今	業 <i>6</i>		女 善 の	策文		び 応	無						
	業の評 機 関						無						

注:事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

補	助	J	事	3	業	名	日出生台	討演習場関連	車公共用施設	設(交通施	設:四季彩口	コード線)	整備事業	
補	助	事	業	套	者	名	九重町							
実		施		場		所	大分県理	久珠郡九重F	町大字町田					
補	助	事	業	町道四季彩ロード線の道路舗装の老朽化により、当町において工事時期を検討したところ、早急に舗装を実施する必要があると判断し、舗装工事を実施したものである。 調整交付金事業で工事を実施することにより、地域住民の生活基盤の整備を図るとともに、日出生台演習場の安定的使用に寄与させるものである。										
補	助	事	業	の	内			延長 L = 96 延長 L = 33			平成18~24年 戈25年度)	F度)		
補具	助事	業の	始其	月及	てび終	※期	平成18年	F度 から	平成27年	度				
								18~24年度	25年度	26~27年度			計	
事	業 費	及	び 2	交亻	付 金	額	事業費	円 201, 379, 050	円 39, 110, 400	円 33, 727, 950			円 274, 217, 400	
							交付金額	199, 000, 000	37, 973, 000	30, 425, 000			267, 398, 000	
補具	助事	業の	成果	是及	び評	延価	舗装工具とができた		たことで、	地域住民の)生活環境の	改善に寄	与するこ	
事今	業 <i>(</i> 後		、善 の			び 応	今後とも)地域住民(の理解を得	ながら事業	美を実施。			
	事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無													

補	助	J	事	15/	業	名	日出生台海 (消防に関	寅習場関連2 関する施設	公共用施設 : 小型動力	ポンプ付種	責載車)整	備事業	
補	助	事		Ě	者	名	九重町						
実		施		場		所	大分県九重	重町大字後	野上・大字	菅原			
補	助	事	業	の	目	的		ポンプ付積i の安全を確信		することに	こより、消	防力の強化	を図り、
補	補 助 事 業 の 内 容 小型動力ポンプ付積載車購入 2台												
補具	助事	業の	始其	期及	び終	※期	平成25年	F 度					
								25年度					=
事	業費	及	び	交亻	寸 金	額	事業費	円 10, 962, 000	円	円	円	円	円 10, 962, 000
							交付金額	10, 000, 000					10, 000, 000
補具	助事	業の	成身	果 及	び割	严価	小型動力和 地域住民 <i>0</i>	ポンプ付積i の安全を確信	載車を整備 呆すること	したことに ができた。	こより、消	防力の強化	が図られ
事今	事業の改善策及び 今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。												
	事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無												
沙十 .	中光	かかぎ	į (π.)	ア 17夕 マ	1 -	<u>~~</u>	土人が、日日ナ、江	田した坦△	ル リノョナケケ・	- 大阪目1 の /	カエトコッド井上	L D kk + =11 ±	トトフェー

補	助	j	事	, lake	業	名	日出生台海 築工事)	寅習場関連? 整備事業	公共用施設	:(消防に関	関する施設	:消防格納	庫詰所新
補	助	事		業	者	名	九重町						
実		施		場		所	大分県九重	重町大字田野	野				
補	助	事	業	の	目	的	消防格納属 の安全を研	載詰所を新領 催保する。	築すること	により、消	肖防力の強	化を図り、	地域住民
補	消防格納庫詰所 補 助 事 業 の 内 容 実施設計 一式 新築工事 木造平屋建て 58.17㎡ 1棟												
補具	助事	業の	始其	朝及	てび終	※期	平成25年						
								2 5 年度					<u>≅</u> -
事	業 費	予 及	び	交亻	付 金	額	事業費	円 10, 003, 900	円	円	円	円	円 10, 003, 900
							交付金額	8, 000, 000					8, 000, 000
補助事業の成果及び評価 ドの安全を確保することができた。											、地域住		
事業の改善策及び 今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。													
	事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無												
沙士 .	. 中ツ	そのま	T (.TT.)	~ DAY	1 7	<u>~~</u> —	土人が、日日ナ、江	田した坦△	ルト リノョナなど	— 土土+W 日日 の .	ウェルファッド井上	L D kk + =1+	トーフェー

補	助	<u> </u>	F	業	名	日出生台	日出生台演習場関連公共用施設(交通施設:相口線)整備事業										
補	助	事	業	者	名	九重町											
実		施	場	<u>=</u>	所	大分県理	次珠郡九 <u>重</u> [町大字菅原									
補	町道相口線の幅員が狭隘により車両同士の離合が困難なことから、道路幅員を拡幅してほしいとの要望があり、当町において工事時期を検討したところ、早急に拡幅を実施する必要があると判断し、改良工事を実施したものである。調整交付金事業で工事を実施することにより、地域住民の生活基盤の整備を図るとともに、日出生台演習場の安定的使用に寄与させるものである。																
改良舗装工事 延長L= 47.2m、幅員W=5m (平成23年度) 対良舗装工事 延長L= 94.0m、幅員W=5m (平成24年度) 改良舗装工事 延長L=102.0m、幅員W=5m (平成25年度)																	
補具	助事訓	業の妨	台期。	及び約	終期	平成23年	手度 から	平成25年	度								
							23年度	24年度	25年度			= -					
事	業 費	及で	び交	付金	額	事業費	円 7, 755, 300	円 23, 838, 150	円 28, 507, 000	円	円	円 60, 100, 450					
						交付金額	5, 720, 000	23, 252, 000	25, 000, 000			53, 972, 000					
補具	助事訓	€のβ	成果,	及び評	平価	改良工!!	事が完了した。	たことで、	地域住民の)生活環境(の改善に寄	与するこ					
事今	業 <i>0</i> 後		善か	策 及 対	び 応	今後ともお	他域住民の	理解を得な	がら事業を	*実施							
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無 無し																	

補	助		事	¥	Ě	名	日出生台海	寅習場関連:	公共用施設	(交通施設	:中巣野矢	·線)整備事	業	
補	助	事	業	1617	者	名	九重町							
実		施	;	場		所	大分県玖珠	朱郡九重町	大字野上					
補	助	事	業	の	目		道路幅員で表した 実施 次年度 とにより	民より、幅」 を拡幅して行 ころ、早急に と計を実施 以降、地域住り と定的使用に となった。	欲しいとの に拡幅を実 したもので 実施設計を 民の生活基	要望があり施する必要ある。基に、調整盤の整備を)、当町に 要があると ¹ 整交付金事 E図るとと	おいて工事 判断し、当 業で工事を	時期を検 該工事に 実施する	
補	助	事	業	の	内	容	実施設計 延長L=400m、幅員W=5m(平成24年度繰越) 用地測量 A=0.59ha(平成25年度)							
補具	助事	業の	始期	月及	び終	外期	平成24年度から平成27年度							
								24年度 (25年度へ 繰越)	25年度	26年度 予定	27年度 予定		計	
事	業 費	及	びる	とか	寸 金	額	事業費	円 4, 492, 950	円 1,837,500	円 19,000,000	円 19, 000, 000	円	円 44, 330, 450	
							交付金額	4, 360, 000	1, 600, 000	17, 000, 000	17, 000, 000		39, 960, 000	
補具	助事》	業の.	成果	及	び割	ダ価	工事が気が、設計の	完了していた の内容に対	ないことか しても地元	ら、具体的	りな成果及び 日滑に図る。	び評価はで ことができ	きないた。	
事今	業 <i>0</i> 後		: 善 の			び応								
	業の記 者 機	関の)活	用(無								

補	助	J	事	i i	業	名	日出生台海	寅習場関連	公共用施設	:(交通施設	设:梅木津{	留下畑線)	整備事業
補	助	事	Ì	業	者	名	九重町						
実		施		場		所	大分県玖珠	朱郡九重町	大字田野				
補	助	事	業	Ø	目		合が困難がにおいてこと と判断し、 次年度り ことにより	基津留下畑流なことから、 工事時期を村当該工事は 以降、当該2 り、地域住り り使用に寄	、道路幅員 険討したと に係る実施 実施設計を 民の生活基	を拡幅して ころ、早急 設計を実施 基に、調整 盤の整備を	(ほしいと) 急に拡幅を 返したもの 後交付金事	の要望があ 実施する必 である。 業で工事を	り、当町 要がある 実施する
補	助	事	業	の	内	容	実施設計 用地測量委	延長L= 委託業務 i		員W=4 m 7ha(平成		年度繰越)	
補具	助事	業の	始其	期 及	び終	§ 期	平成 2 4 4	手度から平 月	成27年度	:			
								24年度 (25年度 〜繰越)	2 5 年度	26~27 年度予定			計
事	業 費	,及	び	交~	付 金	額	事業費	円 3, 636, 150	円 1,806,000	円 43, 000, 000	円	円	円 48, 442, 150
							交付金額	3, 500, 000	1, 600, 000	41, 000, 000			46, 100, 000
補具	助事	業の	成身	果及	で評	益価	工事が完了設計の内容	了していなり	いことから も、地元の	、具体的な 理解を得る	は果及び	評価はでき きた。	ないが、
事今	業 <i>6</i>		て 善 の		受 対	び応	今後ともお	他域住民の	理解を得な	がら事業を	*実施。		
者	機関	の	活	用(ての第 の 有	無	無細水紅田山			問の夕孙乃			

注:事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

補	助	Ī	事	ヺ	色	名	日出生台海	寅習場関連:	公共用施設	(交通施設	: 平家山支	モ線)整備事	業	
補	助	事	業		者	名	九重町							
実		施	;	場		所	大分県玖珠	朱郡九重町	大字野上					
補	助	事	業	の	目		道路幅員で表した 実施 次年度 とにより	民より、幅」 と拡幅 早急 ころ、実施 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	欲しいとの に拡幅を実 したもので 実施設計を 民の生活基	要望があり施する必要ある。 基に、調整盤の整備を)、当町に 要があると 整交付金事 を図るとと	おいて工事 判断し、当 業で工事を	時期を検 該工事に 実施する	
補	助	事	業	の	内	容	実施設: 用地測量		=590m、巾 na(平成25		n(平成244	年度繰越)		
補具	助事	業の	始期	及	び終	朔	平成24年	F度から平)	成28年度					
								24年度 (25年度へ 繰越)	25年度	26年度 予定	27年度 予定	28年度 予定	計	
事	業 費	及	びす	どか	寸 金	額	事業費	円 6, 300, 000	円 4, 017, 300	円 33, 700, 000	円 33, 700, 000	円 33, 700, 000	円 111, 417, 300	
							交付金額	6, 000, 000	4, 000, 000	33, 000, 000	33, 000, 000	33, 000, 000	109, 000, 000	
補具	助事	業の	成果	及	び割	延価	工事が気が、設計の	完了していた の内容に対	ないことか しても地元	ら、具体的	りな成果及 日滑に図る	び評価はで ことができ	きないた。	
事今	業 <i>0</i> 後			策文		び応								
	業の記 者 機	関♂)活	用(の有	無	11112							

補	助		事	Ì	業	名	日出生台海	寅習場関連:	公共用施設	(交通施設	:蓑原吉部	ぶ線)整備事	業	
補	助	事	業	44.	者	名	九重町							
実		施		場		所	大分県玖珠	朱郡九重町	大字田野					
補	助	事	業	の	目		から、排えたとになる。 次年度 にとにより	民より、路で は整備を と記録を を設計・ と記録を は は は は は は は は は は は は は	て欲しいと 急に整備を 施したもう 実施設計を 民の生活基	の要望があ 実施する。 である。 基に、調整 盤の整備を	らり、当町1公要がある を交付金事を図るとと	こおいてエ と判断し、 業で工事を	事時期を 当該工事 実施する	
補	助	事	業	の	内	容	実施設計 延長L=750m、幅員W=5m							
補且	助事	業の	始期	月及	び終	外期	平成25年度から平成27年度							
								25年度	26年度 予定	27年度 予定			計	
事	業 費	及	びる	之个	寸 金	額	事業費	円 3, 570, 000	円 7, 500, 000	円 7, 500, 000	円	円	円 18, 570, 000	
							交付金額	3, 500, 000	7, 250, 000	7, 250, 000			18, 000, 000	
補具	助事	業の.	成果	- 及	び割	严価	工事が5が、設計の	完了していた の内容に対	ないことか しても地元	ら、具体的	的な成果及で 身ることが [*]	び評価はで できた。	きない	
事今	業 <i>0</i> 後		: 善 の		T 及 对	び応								
	業の記 者 機	関の)活	用		無								